

笠間市合併20周年記念 第11回笠間歴史フォーラム 「和歌から読み解く笠間時朝」を開催します！

2月28日(土) 午後1時～4時

笠間市では、市内の歴史・文化財・史跡を題材とした歴史フォーラムを開催しています。第11回では、中世歌人笠間時朝についての講演を予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



前回の様子①



前回の様子②

<テーマ>

笠間時朝は、鎌倉時代に笠間を領地として笠間氏の始祖となりました。時朝は歌人であった父の塩谷朝業、叔父の宇都宮頼綱の影響を受けつつも、都の歌人たちと積極的に交流して自ら学び、笠間で歌の会を開いて、領地に和歌文化を根づかせようとしてきました。これは全国的に見て、かなり先進的な取り組みです。時朝の残した歌集などをひもときながら、笠間に移入された都の文化を具体的に見ていくことで、時朝の人物像を描き出します。

<内容>

講演「中世笠間と都を和歌でつなぐ―笠間時朝の“歌まなび”と歌の会―」

渡邊裕美子氏(立正大学文学部教授)

コメント「笠間時朝の全体像を描く」高橋修氏(茨城大学人文社会科学部教授)

報告「令和6年度笠間城跡保存整備調査について」額賀大輔(笠間市教育委員会)

<会場>

笠間市立笠間公民館大ホール(笠間市石井2068-1) ※入場無料、事前申込不要

※詳細は別紙チラシを参照

この件に関するお問い合わせ

笠間市教育委員会 教育部 生涯学習課 文化振興室 担当:額賀(ぬかが)

電話番号:0296-77-1101(内線381) ファックス番号:0296-71-3220 e-mail:gakushu@city.kasama.lg.jp

和歌から読み解く 笠間時朝



稲田神社

笠間氏の始祖であり、笠間城の築城者とも伝えられる笠間時朝。笠間氏は、その後380年間にわたり、領主として笠間郡を治めました。第3回笠間歴史フォーラム「笠間時朝とは何者か？」では、京の武士としての時朝の足跡や時朝の作善(仏像の寄進など)に着目して、その人物像を描き出しました。

今回のフォーラムでは、歌人としての時朝に注目します。同じく歌人であった父の塩谷朝業や叔父の宇都宮頼綱の影響を受けつつも、都の歌人たちと積極的に交流することで、時朝は自ら学び、笠間郡に和歌文化を根づかせようとしていました。時朝の遺した歌集などをひもときながら、笠間に移入された都の文化を具体的に見ていくことで新たな時朝像に迫ります。

日時

令和8年 **2月28日**(土)

13:00～16:00(12:30開場)

会場

笠間市立笠間公民館
大ホール (笠間市石井2068-1)

入場無料

(事前申込不要)

定員500名

講演

中世笠間と都を和歌でつなぐ

— 笠間時朝の“歌まなび”と歌の会 —

渡邊 裕美子氏(立正大学文学部教授)

コメント

笠間時朝の全体像を描く

高橋 修氏(茨城大学人文社会科学部教授)

報告

令和6年度 笠間城跡保存整備調査について

額賀 大輔(笠間市教育委員会)

問合せ

笠間市教育委員会教育部 生涯学習課 文化振興室 (笠間市中央三丁目2番1号)

TEL:0296-77-1101(内線381) E-mail: gakushu@city.kasama.lg.jp

主催: 笠間市 笠間市教育委員会

後援: 茨城県教育委員会 茨城県考古学協会 茨城大学中世史研究会 茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク



時朝の歌碑